



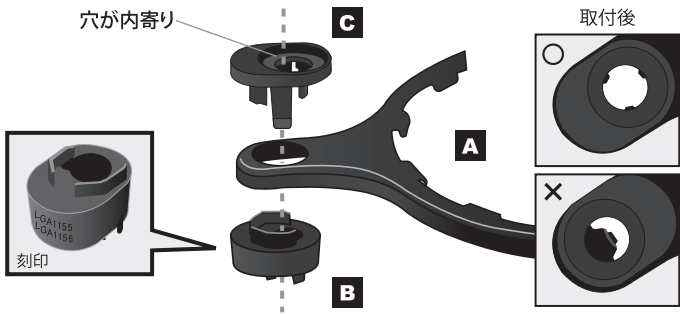
# アプサラス2 取付マニュアル【intel用】

パッケージに記載されているパーツリストを確認しながら、作業を進めましょう。

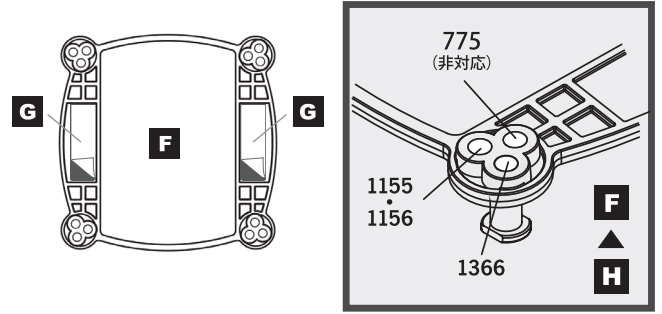
！ご注意ください！

- 本製品はメンテナンスフリーの水冷クーラーとなり、お客様自身によるクーラント液の補充はできません。
- 感電の恐れがございますので、取り付けの際にはPCの電源を切りコンセントを外した状態で取り付けを行ってください。
- 本製品の取り付けの際は、作業スペースの確保及び、別途作業手袋等をご用意いただくことをお勧めします。
- 本製品、及び付属部品は、小さなお子様の手の届かないところに保管をお願いします。
- 取り付けの際には本製品及びPC内部の突起によるケガにご注意ください。
- 誤った使用方法や接続方法は発火や感電の原因となります。

## 1 取り付け前の準備



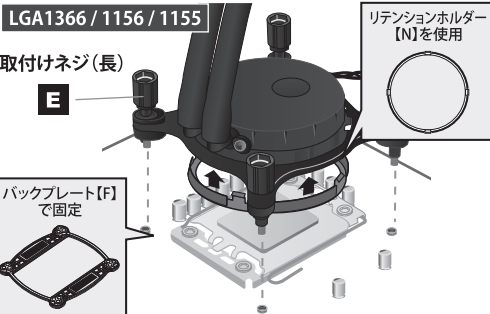
①intel用リテンションリング【A】に、マウンター【B】とマウンターキャップ【C】を取り付けます。(全4ヶ所)  
マウンター【B】の刻印「1155 / 1156」が外側になるように取り付けます。  
★LGA1366/2011をお使いの方は、取り付けたマウンターを回転させ、「LGA1366/2011」の刻印が外側になるようにしてください。



②intel用バックプレート【F】の裏側の刻印を確認し、お使いのCPUに合わせてネジ受け【H】を4つ取り付けます。  
③スポンジ【G】も2ヶ所に貼り付けて下さい。  
※LGA2011をお使いの方は、この作業は不要です。

## 2 ヘッドユニットをマザーボードに取り付ける

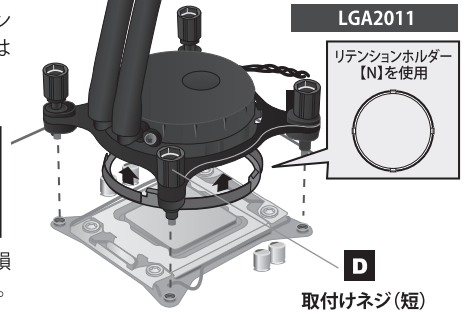
⚠ ヘッドユニットにはシリコングリスが塗られています。拭き取らないで下さい。



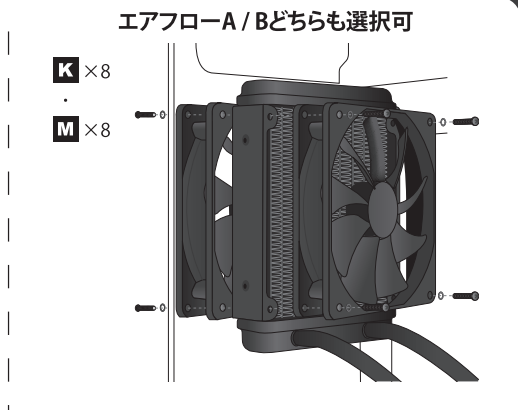
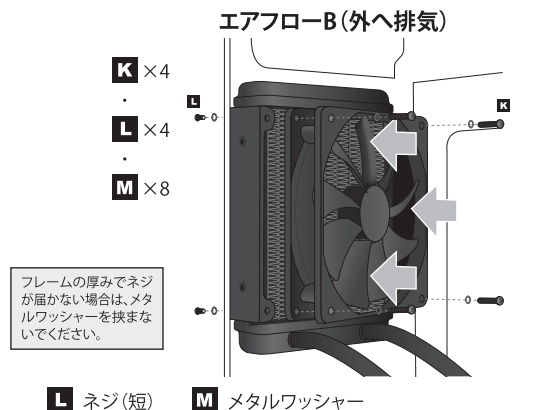
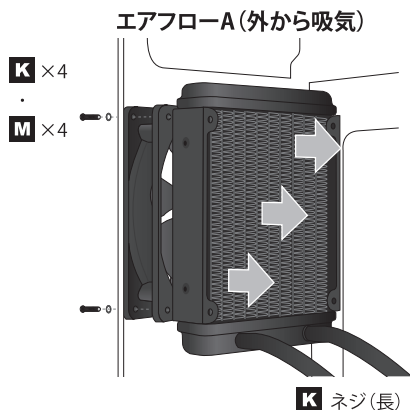
①ヘッドユニットにリテンションリング【A】をセットし、リテンションホルダー【N】で固定します。マザーボードへの固定はバックプレート【F】を使用します。  
※LGA2011では、バックプレートを使用しません。

②お使いのCPUに対応した取付ネジを使って、対角線の順にネジを締め、リテンションを取り付けます。

⚠ネジを強く締めすぎるとネジ受け【H】が空転し、パーツが破損してしまいますので、ネジが回らなくなった所で止めてください。



## 3 ラジエーターユニットをケースに取り付ける



※ファンの風向きは必ずラジエーターへ風を吹き付ける向きで取り付けてください。

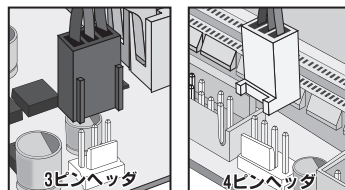
シングルファンの場合

デュアルファンの場合

★ユーザーの環境やPCの構成により、最もパフォーマンスが発揮できる組み合わせは異なります。あなたのベストを探してみましょう！

## 4 ポンプ用電源コネクタとファンコネクタの接続

①ポンプ用電源コネクタ(黒)とファンコネクタ(白)を、マザーボード上のファン用ヘッダピンに接続します。図のように4ピンのヘッダピンにも接続が可能です。コネクタの切り欠きに合わせて正しく接続してください。



⚠ ご注意ください

接続したポンプ用電源コネクタに対し、BIOSやソフトウェア上で何らかのファンコントロール機能が設定されている場合は、ポンプの能力を最大限に引き出すためにファンコントロール機能を無効にしてください。

ファンコントロール機能の詳細につきましては、マザーボードメーカー様へお問い合わせください。



Q: 取付後に電源を入れたら、空気が入って水が詰まるような異音が出たのですが？

Q: 本体から「ジー」という音が聞こえます。故障でしょうか？

A: 初回起動時は冷却水が安定していないため、音が出ます。そのままご使用頂き、循環を安定させると音がなくなります。

A: ヘッドユニットの動作音です。音が著しく大きい場合は、サポートセンターへお問い合わせください。



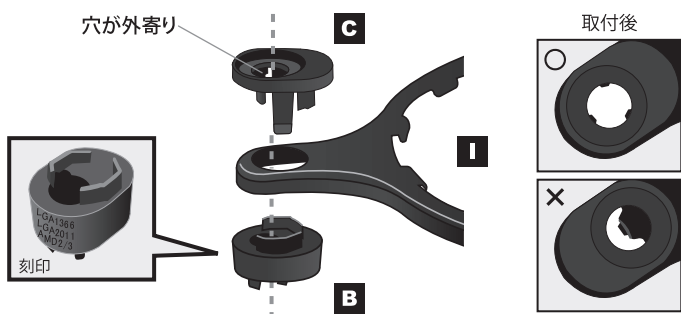
# アプサラス2 取付マニュアル【AMD用】

パッケージに記載されているパーツリストを確認しながら、作業を進めましょう。

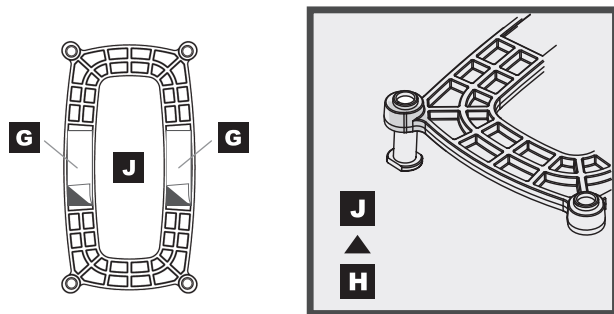
！ご注意ください！

- 本製品はメンテナンスフリーの水冷クーラーとなり、お客様自身によるクーラント液の補充はできません。
- 感電の恐れがございますので、取り付けの際にはPCの電源を切りコンセントを外した状態で取り付けを行ってください。
- 本製品の取り付けの際は、作業スペースの確保及び、別途作業手袋等をご用意いただくことをお勧めします。
- 本製品、及び付属部品は、小さなお子様の手が届かないところに保管をお願いします。
- 取り付けの際には本製品及びPC内部の突起によるケガにご注意ください。
- 誤った使用方法や接続方法は発火や感電の原因となります。

## 1 取り付け前の準備



①AMD用リテンションリング【I】に、マウンター【B】とマウンターキャップ【C】を取り付けます。(全4ヶ所)  
マウンター【B】の刻印「LGA1366 / 2011 / AMD2/3」が外側になるように取り付けます。

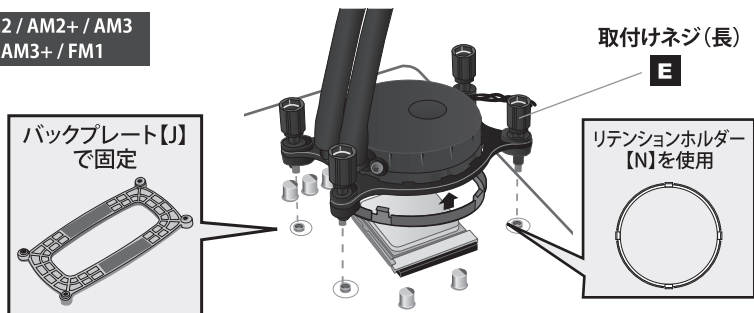


②AMD用バックプレート【J】に、ネジ受け【H】を4つ取り付けます。  
③スポンジ【G】も2ヶ所に貼り付けて下さい。

## 2 ヘッドユニットをマザーボードに取り付ける

⚠ ヘッドユニットにはシリコングリスが塗られています。拭き取らないで下さい。

AM2 / AM2+ / AM3  
AM3+ / FM1



①ヘッドユニットにリテンションリング【I】をセットし、リテンションホルダー【N】で固定します。マザーボードへの固定はバックプレート【J】を使用します。

②取付けネジ【E】を使い、対角線の順にネジを締めてリテンションを取り付けます。



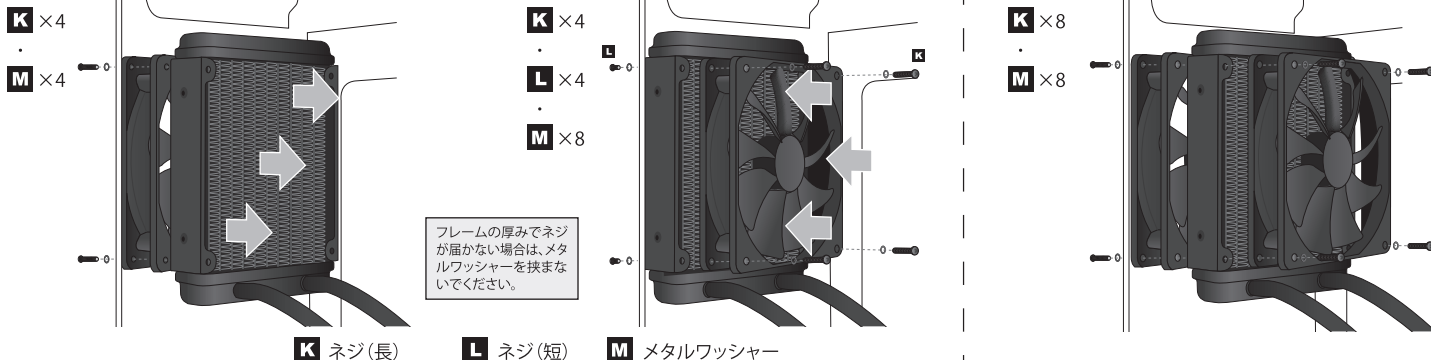
⚠ネジを強く締めすぎるとネジ受け【H】が空転し、パーツが破損してしまいますので、ネジが回らなくなった所で止めてください。

## 3 ラジエーターユニットをケースに取り付ける

エアフローA(外から吸気)

エアフローB(外へ排気)

エアフローA / Bどちらも選択可



※ファンの風向きは必ずラジエーターへ風を吹き付ける向きで取り付けてください。

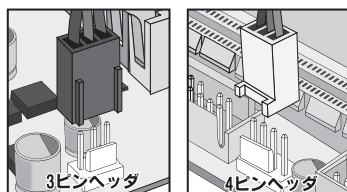
シングルファンの場合

デュアルファンの場合

★ユーザーの環境やPCの構成により、最もパフォーマンスが発揮できる組み合わせは異なります。あなたのベストを探してみましょう！

## 4 ポンプ用電源コネクタとファンコネクタの接続

①ポンプ用電源コネクタ(黒)とファンコネクタ(白)を、マザーボード上のファン用ヘッダピンに接続します。図のように4ピンのヘッダピンにも接続が可能です。コネクタの切り欠きに合わせて正しく接続してください。



⚠ ご注意ください

接続したポンプ用電源コネクタに対し、BIOSやソフトウェア上で何らかのファンコントロール機能が設定されている場合は、ポンプの能力を最大限に引き出すためにファンコントロール機能を無効にしてください。

ファンコントロール機能の詳細につきましては、マザーボードメーカー様へお問い合わせください。

Q&A

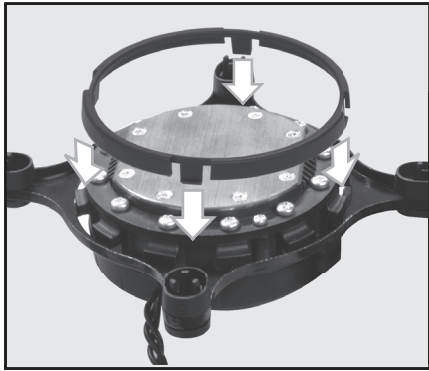
Q: 取付後に電源を入れたら、空気が入って水が詰まるような異音が出たのですが？

A: 初回起動時は冷却水が安定していないため、音が出ます。そのままご使用頂き、循環を安定させると音がなくなります。

Q: 本体から「ジー」という音が聞こえます。故障でしょうか？

A: ヘッドユニットの動作音です。音が著しく大きい場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

## ■ 補足説明 リテンションホルダー[N]の取付けについて



ヘッドユニットとリテンションを噛み合わせたのち、歯車のすきまに合わせて、4ヶ所のツメを「パチン」と音がするまで押し込んでください。

※取り付け方はintel / AMD共通です。